



岩手大学 教育学部

学校教育教員養成課程

～「音楽サブコース」の紹介～

学校の音楽は大切

- ▶ 学校での音楽の授業は楽しかったですか？ それとも苦手でしたか？
- ▶ 音楽とは本来、楽しくて、**心が豊か**になり、人生が豊かになるようなものです。
- ▶ 音楽は、人の**心の教育**に最も深くかかわっている教科のひとつです。
- ▶ だから学校の先生は、音楽を「上手に」教えられなければなりません。**楽しく、ためになる授業**ができることが大切です。
- ▶ 児童・生徒に音楽をうまく教える自信はありますか？
- ▶ 岩手大学音楽サブコースに所属すれば、**上手に音楽を教える力**が身に付きます！

岩大 音楽サブコース（通称「音楽科」）

2つの所属方法があります。

▶ 小学校教育コース **音楽サブコース**（通称「小音」）

入試：実技試験なし。

1年次後期から所属（入学後に選択。入学時、音楽が得意でなくても所属可能。）

1年次後期～4年次の間で音楽についての講義やレッスン等を受け、学ぶ。

▶ 中学校教育コース **音楽サブコース**（通称「中音」）

入試：実技試験あり（定員3名）。

入試段階での志望により、入学と同時に音楽サブコースに所属。

卒業時の専攻分野は、入学時と同じとは限らない。

* 小学校音楽サブコースと、中学校音楽サブコースの学生は、一緒に音楽の授業を受けることが多いので、両方まとめて「音楽科の学生」と呼ばれます。

小学校教育コース 音楽サブコース

- ▶ 小学校教育コースでは、1年後期から11種あるサブコースのいずれかに所属。
- ▶ 音楽サブコースは、特に音楽の指導が得意な小学校教員の養成を目的としている。
 - * 小学校音楽サブコースに所属するための実技試験などはないが、一応学生定員があるため、希望者が多い場合は、実技や小論文等の試験で選抜する。
 - * ただし定員は多めに設定しているので、例年、試験なしで希望どおりに所属できている。
- ▶ **取得できる教員免許**
 - 小学校の教員免許（一種）（卒業要件）。
 - 中学校（音楽）の教員免許（二種）（卒業要件）。
 - さらに頑張れば、中学校（音楽）の一種（＝高等学校・音楽） / 特別支援学校 / 中学校他教科の教員免許状も取得可能（多いほど取得困難）。

小学校音楽サブコースの開設授業科目

- ▶ 小学校の教材を歌ったり、楽器を演奏したりする授業。
 - ▶ ピアノ伴奏が必ず弾けるようになる授業。
 - ▶ その他、小学校で音楽を教える方法について学ぶ授業（「音楽科教育法」）。
 - ▶ 加えて、音楽サブコースに所属すると、音楽の専門科目の授業も受講（詳細は後述）。
 - ▶ さらに、中学校・高校（音楽）の一種教員免許を取得する場合は、より多くの音楽関係の授業を受ける。
-
- ▶ **卒業研究**：幾つかの分野から選ぶ。
 - 卒業演奏（声楽、ピアノ、管弦打楽器など）
 - 卒業作品（作曲）
 - 卒業論文（音楽科教育）

中学校教育コース 音楽サブコース

- ▶ このコースは、中学校の音楽教員の養成を目的としている。

- ▶ **取得できる免許**
 - * 中学校（音楽）教員免許（一種）（卒業要件）。
 - ・ 高等学校（音楽）の教員免許（一種）は、同時に取得できる。
 - * さらに、以下のいずれかの教員免許取得が卒業要件。
 - ・ 中学校の他教科の教員免許（二種）
 - ・ 小学校の教員免許（二種）

 - * さらに頑張れば、特別支援学校の教員免許も取得可（多いほど取得困難）。

中学校音楽サブコースの開設授業科目

▶ 音楽の専門にかかわる授業

「ソルフェージュ」「音楽理論」「声楽」「ピアノ」「管・弦・打楽器」「音楽史」「作曲法」「指揮法」「伴奏法」「合唱」「合奏」など。

▶ 中学校で音楽を教える方法について学ぶ授業

「音楽科教育法」。

* 日本の伝統音楽や、世界の諸民族の音楽の演奏法・指導法を学ぶ授業も含まれている。

▶ 声楽、ピアノ、作曲、音楽科教育の常勤教員のほか、管・弦・打楽器、箏、尺八などの授業は、専門家の非常勤教員が担当。

▶ **卒業研究**：幾つかの分野から選ぶ（小学校の音楽サブコースと同様）

- ・ 卒業演奏（声楽、ピアノ、管弦打楽器など）
- ・ 卒業作品（作曲）
- ・ 卒業論文（音楽科教育）

小学校と中学校の音楽サブコースの違い

- ▶ 音楽が得意な小学校の先生になりたい人 小学校音楽サブコースへ！
- ▶ 中学校・高校の音楽の先生になりたい人 中学校音楽サブコースへ！
- ▶ 小学校教員か中学校教員か、まだ決めていない人 ぜひご検討を！

- ▶ どちらのコースでも、
 - ・入学後の音楽の勉強は同様にできる。
 - ・小学校と、中学・高校の音楽の教員免許を取得できる。
- ▶ 大きな違いは「入試」と「取得必修の教員免許」。

- ▶ 両コースの違いを比べて、どちらを受験するか/併願するか、ご検討ください！

- ▶ 以下、専任教員から担当科目などについて説明します。

米谷 毅彦（声楽・指揮）

- ▶ **声楽**：クラス授業で発声の基礎を学んだのち（日本の伝統的な歌唱も含む）、個人レッスン形式で西洋や日本の歌曲そしてオペラについて勉強します。
- ▶ **合唱**：クラス授業で、西洋や日本の様々な合唱曲の演奏と指導法について学びます。
- ▶ **指揮法**：クラス授業で指揮法の意義と基礎を学び、器楽曲や合唱曲を中心に教育現場へ則した作品を実践します。

多賀谷 祐輔（ピアノ）

- ▶ **器楽A・器楽演習A**：想像力を働かせて楽譜を読み込み、一緒に作品の世界を探求して行く過程で、皆さんの中に眠る創造力に気付いてもらい、自発性溢れる演奏へのガイドとなれば、と考えています。
- ▶ **伴奏法**：様々な楽器や声楽の伴奏を通して、アンサンブルのコツを学んでもらい、他者と溶け合う事の喜びを体感してもらえたら嬉しいです。

大場 陽子（作曲・編曲）

音楽活動に際し必要となる理論的知識や、作曲についての技術を深める学習プログラムが用意されています。

音楽理論

楽譜の読み書きができるようにするための知識を習得。

ソルフェージュ

音感トレーニング。
音の書き取り、視唱、
リズム読みなど。

作曲法 I

コードについて学び、簡単な伴奏づくりや、短い曲を作編曲する。

さらに勉強したい場合は、
「作曲法 II」や「作曲演習」で！

白石 文子（音楽科教育）

▶ 音楽科教育法

学習指導要領の解読、音楽教科書の分析、学習指導案の作成、模擬授業の構想と実施、授業分析と協議、音楽科教育に関わる研究発表・論文作成など、常に理論と実践の関係を考えながら、基礎から応用までを勉強します。

▶ 音楽科教育法演習A

尺八の演奏法と指導法を中心に、篠笛ほか、日本の伝統音楽や世界の諸民族の音楽における管楽器についても学びます。

川口 明子（音楽科教育）

～日本の音楽・世界の音楽～

▶ 音楽科教育法

小学校及び中学校・高校の音楽科指導に必要な理論と実践を、広く深く学びます。さらに、和楽器やアジアの音楽文化も、体験的に楽しく学びます。

▶ 音楽科教育法演習 B

箏の実技を中心に、日本の伝統音楽の知識や指導法も学びます。

管・弦・打楽器、合奏、音楽史

- ▶ **管楽器・弦楽器**：希望者は個人レッスンあり。初心者でもバイオリン等に挑戦できます。
- ▶ **打楽器**：クラス授業で、様々な打楽器の奏法を一通り、基礎から応用まで学びます。
- ▶ **合奏**：クラス授業で、和楽器も含めて、様々な楽器の合奏の奏法や指導法を学びます。
- ▶ **音楽史**：西洋音楽史、日本音楽史をはじめ、世界の諸民族の音楽についても勉強します。

興味をもった方は、
ぜひ、**岩手大学・音楽サブコース**へ！

